「ビジネスデザイン立教会」設立から一年経ちました

ビジネスデザイン立教会　山崎 洋治
（ビジネスデザイン研究科 3期 2006年修了）

ビジネスデザイン立教会（以下BD立教会）は、2008年7月19日に太刀川記念館にて第2回総会を開催しました。2007年9月22日の設立総会から約一年が経過し、その間、5期の修了生が入会し、総勢250人強の会員数となりました。

BD立教会は、BD研究科修了生のために情報集積・発信基地としての機能の提供が第一義の目的です。これに加え、修了生のみならず、在学生、先生等の大学関係者も含むBD研究科全体のネットワークの基点にすることも将来的な課題だと考えています。

そこで、今回の総会において会員資格の改定を行いました。これまでBD研究科修了生に限っていた入会資格を、BD研究科を退任された先生方まで拡大しました。この改定によりBD研究科修了生のみならず、先生方も参加していただくことが可能となり、BD研究科出身者のネットワークがさらに拡充されたことになります。

また、総会では五味紀男氏（元BD研究科教授・現明治大学特別招聘教授）に、「なぜ、日本の生活資材産業において、国際競争力が弱いのか?」をテーマにご講演いただきました。このテーマは、本年度の新産業研究会において五味先生をはじめBD研究科修了生により研究活動が行われているものです。今回の講演は内容もさることながら、修了後における問題意識への取り組みを示す良い例となったと考えています。BD研究科修了生には自己研鑽が求められますので、BD立教会は、会員同士の交流だけでなく、研究活動を支援する活動も提供していきたいと考えています。その一環として、今年度は講演会を3回ほど企画しています。昨年度は、CMOワールドワイド株式会社の代表取締役社長である加茂純氏に、マーケティング組織戦略をテーマに講演していただきました。今年度は、立教大学やBD研究科関係者のネットワークにより、さらに修了生・在校生に役立つものを企画したいと考えております。詳細が決定しましたら、お知らせいたしますので是非ともご参加ください。

最後になりますが、BD立教会は、役員が中心的に活動いたしますが、あくまで主役は修了生一人一人になります。在学生の方には、BD研究科の益々の発展のために、BD立教会の趣旨にご理解いただくと共に、修了した暁には是非ご入会くださいますようお願い申し上げます。

ビジネスデザイン研究会主催 2008年 夏合宿

（記事：米岡 英治）

毎年恒例となっているビジネスデザイン研究会主催の夏合宿が、日本にアメリカンフットボールを紹介したことで知られる立教大学ゆかりのポールラッシュ博士が創設した清里（山梨県）の清泉寮において九月六日（土）、七日（日）にかけて行われました。

初日は、七期生権代さんによる「セルフプレゼンテーションセミナー」が行われました。

ビジネスマナーから自己アピールに関する理論、技術について、参加者で実践および質疑応答が行われ、普段忘れがちな他人に与える印象の大切さについて再認識することができました。六期生はゼミ、七期生はコンサルティング・メソッドの受講者が多くいたことから、このセミナーへの参加者が、やや少なかったことは残念ですが、有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。

その後遅れての到着となった参加者の皆さんも、夕食には合流し、夜はロッジでの懇親会と続きました。懇親会には、青淵先生、山中先生も参加され、先輩・後輩、先生・学生の壁を越えた親睦がなされました。地元清里の酒店で大量に調達したビール、ワイン、焼酎がどこへ消えたのか、今でも不思議です。

二日目は、全員で今後のビジネスデザイン研究科の発展に向けてディスカッションを行いました。院生同士がディスカッションした内容を、先生方へ直接提言できる数少ない機会ということもあり、活発な意見交換が行われました。テーマごとにチームに分かれての話し合いの後、まとめた内容をオブザーバーとして参加して頂いた青淵先生、山中先生へお伝えしました。

ディスカッション終了後は清泉寮名物のソフトクリームを堪能し、参加者全員で記念撮影を行いました。昼食は、全員揃って山梨県の郷土料理「ほうとう」を楽しみ、解散となりました。

次回のビジネスデザイン研究会主催の合宿は、来年春休み中に実施される予定です。多くの方々のご参加をお待ちしています。

6期生・7期生合同懇親会

（記事：小暮早苗　龍崎冷華）

前期末レポート提出最終日の7月26日（土）、「6期生・7期生合同懇親会」が、カフェテリア山小屋にて開催されました。現役院生のみならず、先生方も含めたBD研究科全体の交流を図ることを目的に、ビジネスデザイン研究会と企業価値研究会が中心となり企画。運営は各研究会に属する小暮・森田（6期生）、加藤（武）・横山（7期生）の4名を中心に行われました。当日は、先生方も含め総勢100名近くの方々が参加され、先生方の自己紹介や、院生の質問に思わず普段うかがい知ることのできない先生方のプライベートな一面が飛び出すなど活況を呈しました。あまりの盛り上がりに、予定していた以上の飲料（主にアルコール）不足という不測の事態が起こり、運営スタッフが急きょ買いに走るという、うれしいアクシデント（?）が発生するほどの大盛況でした。この会を通じて学年を超えた現役生のつながりはもとより、先生方との交流も深まり、前期終了の非常に貴重な時間を共有しました。

編集後記

◆締め切りを　前倒しても　ギリギリだ（緑川雅一）
◆書けなさに　負けるな修論　コピペだめ?（プロミッチ）
◆がっこうと　しごとにかてい　いつねるの?（菅沼生喜）
◆最高の　有終の美は　修論で（チェハンラ）
◆院生が　今も机で　思案顔（佐藤聡朗）
◆論文と　ともに深まる　顔のしわ（小野）
◆つまようじ　ダブリン会議　マスオさん（略語おじいちゃん）
◆修士課程　いつも終始　呑んで寝て（ねむり姫）
◆そしてまた　3歩進んで　2歩さがる（浅野秀雄）
◆カメラ役　あらら私が　写らない（細野）
◆松茸は　白トリュフより　秋らしい（山浦緑）
◆アメリカの　金融危機で　とばっちり（水上）
◆仕事して　授業宿題　また仕事（山口）
◆キャンパスの　緑で癒す　レポート疲れ（霞）
◆院生の　熱気で暑い　後期始まる（米岡英治）
◆きょうもまた　あさをむかえる　いけぶくろ（加藤彰）
◆秋気配　頭の中は　冬気配（ウイリアム）
◆筆進む　それともスベる　ほろ酔い夜（くま）
◆ふりむけば　楽しい思い出　ありがとう（龍崎冷華）
◆鬼谷氏　会って納得　すごい人（酒向厚史）

立教大学大学院　ビジネスデザイン研究科
「BizCom」VOL.31　2008年10月31日発行

発行責任者：山中 伸彦
編　集　長：小野 陽子
副編集長：阿部 麻須美　今井 晃　加藤 彰　原島 なほみ
編集委員：小暮 早苗　酒向 厚史　下地 芳郎　チェ・ハンラ
福田 三成　星 幸恵　米岡 英治　龍崎 冷華　浅野 秀浩
植松 隆　加藤 武志　権代 美重子　佐藤 聡朗　菅沼 生喜
杉山 あすか　鈴木 幹一　細野 茂子　水上 友徳
緑川 雅一　山浦 緑　山口 己智一
デザイン：作山 博美
印　　刷：藤原印刷株式会社

◆「BizCom」次号の発行は2009年2月の予定です。
● 本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

ISSN 1349-3698